

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2 -	日常生活の安心・安全を高める	市長室、市民部、まちづくり政策部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
窃盗犯の発生件数 (年間)	件	686	381				640
交通事故発生件数 (年間)	件	843	743				740
消費生活相談において消費者自らが相手方と交渉できるよう助言した件数の割合	%	89	87				85
関連事業							
防犯対策・治安向上推進事業 防犯設備整備事業 交通安全啓発推進事業 交通安全対策指導事業 安全で豊かな消費生活推進事業							
決算額							
	2年度	3年度	4年度	5年度			
事業費(千円)	100,233						
執行率(%)	93.56						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「防犯対策・体感治安の向上」</p> <p>平塚警察署及び関係団体と連携した防犯活動を実施し、平塚警察署と締結した協定に基づき大型商業施設に警報機付き自転車を設置しました。刑法犯認知件数は、前年比で432件(31.3%)の減少となりました。</p> <p>「防犯設備の整備」</p> <p>防犯街路灯の移設や新規設置、防犯カメラの維持管理及び自治会等に対する防犯カメラの設置補助(10台分)等を行うことで、地域における防犯設備の整備・充実を図りました。</p> <p>「交通安全対策の推進」</p> <p>幅広い年齢層を対象とした交通安全教室や、関係団体と連携した各種交通安全キャンペーン、交通安全動画をYouTubeで配信する等により、市民の交通安全意識向上を</p>							

図りました。また、市内各地域で児童生徒の登校時に交通安全指導等を実施することで、交通事故防止を図りました。

「消費者被害の未然防止と救済」

出前講座等や関係機関と連携した啓発活動を行うことで、消費者被害の未然防止を図りました。新型コロナウイルスの感染症のため機会は減少しましたが、翌年度の継続に向け主催団体等への周知を行いました。また、2,763件の消費生活相談を行い消費者トラブルの救済を行いました。

施策を推進する上での「課題」

「防犯対策・体感治安の向上」
刑法犯認知件数の更なる減少に向けた対策が必要です。

「防犯設備の整備」
防犯街路灯の移設や新規設置、防犯カメラの適切な維持管理が必要です。

「交通安全対策の推進」
市内における交通事故発生件数を減らすため、継続して市民の交通安全意識向上を図る必要があります。

「消費者被害の未然防止と救済」
「新たな日常」に伴うネット取引の増加など消費生活の環境が変化する中、消費者の知識不足につけ込む悪質商法により、高齢者や成年年齢引き下げを控えた若年層の新たな被害に対しての効果的な啓発が必要です。

課題解決を図るための「取組方針」

「防犯対策・体感治安の向上」
件数の多い自転車盗の減少のため、警察と連携し、警報機付き自転車等を活用した犯罪抑止の取組を進めます。

「防犯設備の整備」
防犯街路灯の維持管理及び地域住民の要望等による移設や新規設置を行うとともに、市が設置する防犯カメラの維持管理や自治会等への設置補助を行います。また、警察や市内事業者と連携し、防犯カメラ付き自動販売機の導入を検討します。

「交通安全対策の推進」
市民の交通安全意識向上を図るため、ウィズコロナ・ポストコロナに対応した様々な啓発活動や各地域における児童生徒を対象とした交通安全指導などを継続します。

「消費者被害の未然防止と救済」
デジタル化の進展や若年層の成年年齢引き下げに対応するため、SNSによる啓発を確実に継続します。また、合わせて出前講座などの啓発も継続し、リモート方式の研究も行います。